

# Estuary 055



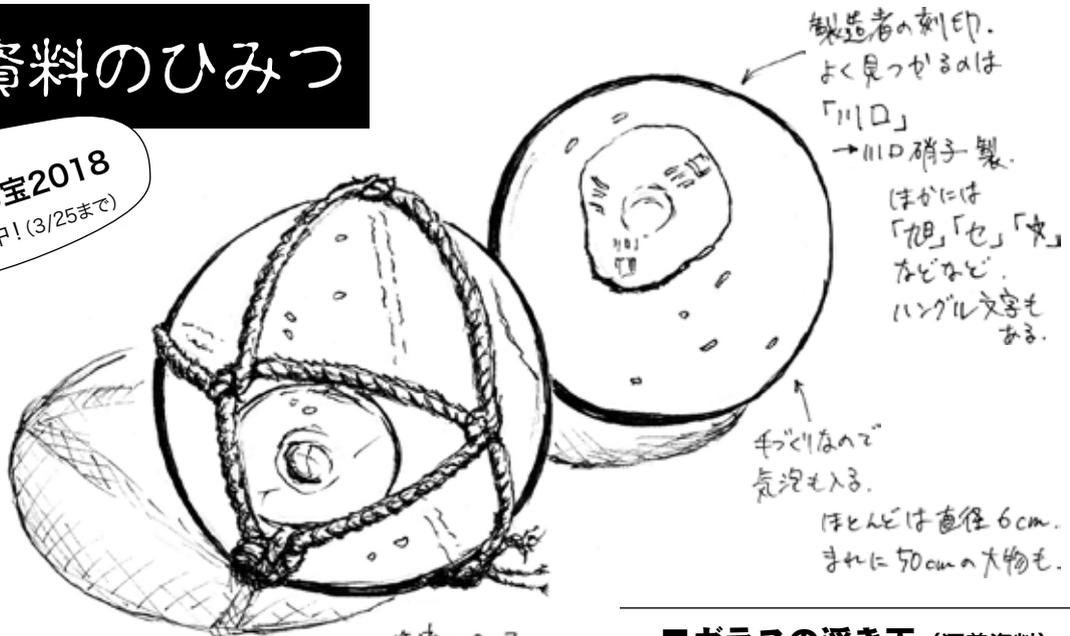
## エスチュアリー

いしかり砂丘の風資料館だより

☆エスチュアリー…「河口」の意味。北海道一の大河、石狩川と日本海とが出会う場所、それが石狩です。

### 展示資料のひみつ

テーマ展  
資料館のお宝2018  
で展示中!(3/25まで)



北海道ではとまどき見つかるが、  
本州ではレア。うらやましがる。

海流によって  
太平洋を渡り、  
北米西海岸でも  
見つかることがある。

#### ■ガラスの浮き玉 (漂着資料)

Japanese glass floats

時代：明治期～昭和期？

採集日：2005年前後～2017年

採集地：石狩湾沿岸

ガラス製の漁業用の浮き。いろいろな漁網に使います。海辺で漂着物としても、よく見つかります。

1910 (明治43) 年、水産試験場のリクエストを受けて、小樽の浅原硝子製造所が開発、製造を始めました。これまで漁業用の浮きは木や竹で作られていたのが、ガラス製にすることによって、軽く、水圧に強く、安価になったそうです。このガラス浮きが明治から昭和初期までの北海道のニシン漁や北洋漁業を支えました。

しかし昭和30年代以降、さらに安く、しかも割れないプラスチック製の浮き玉に取って代わられていきました。今では元祖の浅原硝子がインテリア用などに製造し

ているだけです。

石狩湾沿岸の浜で漂着物として採集された、およそ1500個のガラス浮き、札幌の伊藤静孝さんから寄贈していただきました。ビーチコーマーの伊藤さん、別にガラス浮きを狙って浜を歩いているわけではないのですが、見つけちゃうと「つつい拾ってしまう」そうです。うんうん、わかります。自宅の庭に専用の物置を置いて収蔵していたのですが、とうとう限界に達して、資料館へ寄贈、となったそうです。◆

(志賀健司 しがけんじ)

# 考古学を楽しむ〈4〉

## 土器の不思議 ～器の底～

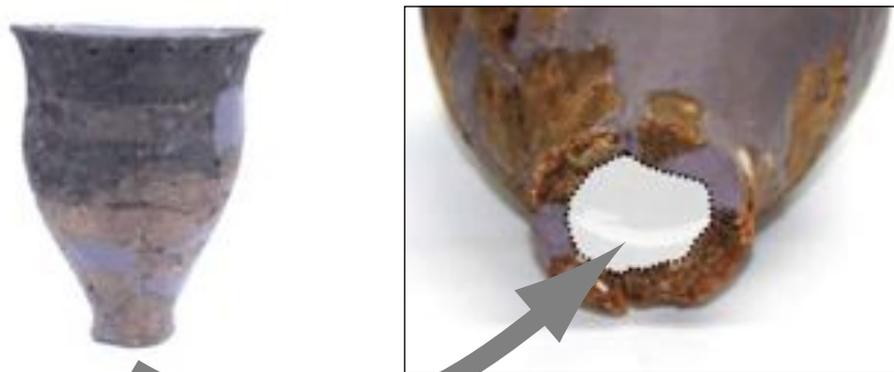
テーマ展「土器文様の不思議—石狩市内の遺跡から—」が終了しました。前号のエスチュアリでは、4点の土器文様の見どころについて紹介しましたが、土器の見どころは文様の他にもいろいろあります。その一つ、ここでは底部（器の底）について取り上げます。

写真の土器は、若生C遺跡から出土した北大式土器と呼ばれる甕（かめ、6～7世紀頃）で、今回のテーマ展にも紹介した1点です。この土器の底を見てみましょう。ちょうど真ん中にぽっかり「あな」が開いた状態になっています。これは、土器を製作する過程であけられ

たものではなく、たまたま割れてしまったわけでもありません。完成している土器の底を意図的に打ち抜いたものとみられるのです。若生C遺跡では、4基の墓とその近くで北大式土器が出土し、甕の底の多くに打ち抜きがあることが報告されています（石狩町教育委員会、1975）。モノを入れる器であるはずの土器の底を抜くことは、当時の人々が死者を埋葬する際の実験的な行為の一端をうかがわせるものと考えられます。◆

（荒山 千恵 あらやまちえ）

参考文献：石狩町教育委員会（1975）『Wakkaoi —石狩・八幡町遺跡ワッカオイ地点調査報告書—』



器の底が打ち抜かれ「あな」が空いています。

写真：筆者撮影（写真右は底部の「あな」の輪郭を点線、打ち抜かれた範囲を白色に加工しています。）

## 石狩遺産 by プロジェクトM 第4～6号が認定されました！

石狩市の歴史や風土、自然が織りなすストーリー、石狩遺産。伝えたい／残したい歴史や自然を、市民自らが、推薦・紹介・認定します。市民グループ「プロジェクトM石狩遺産」によって2017年11月に開催された「石狩遺産シンポジウム」では、推薦された3件が満場一致で新たな石狩遺産として認定されました。

第7号には、あなたの“イチ推し遺産”を推薦しませんか？

プロジェクトM石狩遺産ホームページ↓  
<https://ishikariheritage.wordpress.com/>

■石狩遺産004  
大都市近郊に残る奇跡の砂丘海岸  
**石狩海岸の自然**

■石狩遺産005  
**防風林**  
旧石狩市域に江戸末期および明治開拓期から残る防風林群と石狩湾新港建設に伴い計画的に造成された遮断緑地

■石狩遺産006  
**石狩の油田**  
～道内最大級の油田の歴史と石油を生んだ地層～



umibeography  
石狩ウミベ図鑑

石狩の海辺で見られる物や現象を  
毎回1つ取り上げ、紹介していきます。

004

アマモ

*Zostera marina* Linnaeus, 1753

植物界/被子植物門/単子葉植物綱/オモダカ目/アマモ科

撮影日：2018年1月7日

撮影地：石狩浜（北海道石狩市）

座標：43.244122N,141.344564E

一般情報：

内湾などの砂泥底に生育する海草。海藻（藻類）ではなく、花も咲かせる種子植物で、多年生の草本類。北半球の温帯から亜熱帯に分布する。海底の砂泥に地下茎を延ばし、葉は長さ50cm～1m、幅3～5mmのテープ状をしている。英語でeel grass（ウナギ草）、tape grass。標準的な和名「アマモ」（甘藻）は、地下茎を噛むと甘い（と言われる）ことに由来する。別名「リュウグウノオトヒメノモトユイノキリハズシ」（竜宮の乙姫の元結の切り外し）とも呼ばれ、これは最も長い植物名（和名）とされている。遠浅の海底に作られる大群落「アマモ場」は、さまざまな動植物に食料や隠れ場所を



提供し、豊かな生態系の基盤となる。日本では南西諸島に分布するジュゴンの食草として知られている。

石狩情報：

石狩湾沿岸では、冬に海が荒れると、大量のアマモが打ち上がることがある。石狩川から大量の栄養塩が流れ込む広大な遠浅の海底に、アマモ場が広がっていることを教えてくれる。地下茎を噛んでみたが甘さは感じられなかった。◆

（志賀 健司 しがけんじ）

★★ とってもいいよ! ★★

年末（平成29年）の流行語大賞に、「インスタ映え」が選ばれていました。

私はインスタグラムをやりませんが、ここは流行に乗ってみて、資料館のインスタ推しをちょっと考えてみました。

“石狩川の主・チョウザメ” 体型に似合わないその小さな腫と突き出た吻とレトロチックな皮の色。“クジラの骨の化石” 一瞬木と見間違ふ大きさと、骨粗しょう症を思い出す骨の断面のスカスカ感。“アオイガイ” タコが作るとは思えない、繊細な出来栄の殻（タコに失礼か…）。“缶詰製作” 素材さえあれば世界に一つだけの缶詰作りも大丈夫。“紅葉山49号遺跡” 縄文人の知恵と技が光る、石狩遺産にも認定。旧長野商店も忘れては

いけません。

自画自賛になるけど、あれもこれも候補に推したい、**とってもいいものがありました。**

そう、資料館の展示のほとんどが、**撮ってもいいもの**になっているのです。◆

（倉 雅子 くらまさこ）



2018年 冬の講座・展示

連続講座

**石狩大学博物館** (2週、4科目)

石狩って、どんなところ？

石狩の自然と歴史を調査している学芸員4人が、最新の研究成果やトピックをわかりやすく解説します。

1科目だけの受講もOK。3科目以上を受講した方には修了証を発行！

★いしかり市民カレッジ、道民カレッジ連携講座

■日時 ①②1月27日(土)、③④2月3日(土)  
13:00~15:00 (両日とも)

■場所 石狩市民図書館 視聴覚ホール  
(石狩市花川北7条1丁目26)

■対象 一般、定員40人(先着順)、参加無料

■申込 1/4(木)~各回の前日までに電話で  
資料館へ(0133-62-3711)

1/27(土)

①石狩考古学

土器文様の不思議(荒山千恵)

石狩市内でみつかった縄文文化・統縄文文化・擦文文化の土器から、その見どころを紹介します。



②石狩漂着物学

漂着した魚叩き棒は誰のものか？  
(石橋孝夫)

石狩川河口近くでサケ・マスを叩く棒を採集しました。今では幻の道具です。誰が使っていたのだろうか？



2/3(土)

③石狩地球科学

石狩油田成因論(志賀健司)

道内最大規模の油田が石狩にあった！  
「石狩遺産」にも認定された油田、なぜ石狩にできた？地球科学からアプローチ！



④石狩歴史学

浜益区幌集落の形成について  
(工藤義衛)

浜益第二の規模であった幌市街を、鯉漁業で開けた集落のモデルとしてその成り立ちを検討します。



1月  
開始

テーマ展

**資料館のお宝2018**

今年も貴重な資料を多数ご寄贈いただきました。感謝の気持ちを込めて展示させていただきます。



■期間 2017年12月21日(木)~2018年3月25日(日)

■場所 いしかり砂丘の風資料館

※資料館の入館料が必要です。(大人300円)

開催  
中!

野外講座

**石狩ビーチコーマーズ  
冬の海辺の漂着物**



冬の季節風が運んできた海辺の漂着物を観察・採集して、それらの正体や起源を考えます。

■日時 3月4日(日) 09:00~13:00

■場所 いしかり砂丘の風資料館、石狩浜

■対象 小学4年生~大人(小学生は保護者同伴)

■定員 20人(先着順) ■参加料 無料

■持ち物 防寒着、長靴、帽子、ビニール袋など。

■申込 2/1(木)~3/2(金)の間に電話で  
資料館へ(0133-62-3711)

3月  
開催

編集後記

世の中、「インスタ」流行りのようです。僕はまだやってませんが、かなり興味はあります。あの正方形の画像と数行の文章にすべてを凝縮させ、ムダを削ぎ、いかにアピールするか——。まるで俳句や和歌のようにありませんか？ インスタ映えを目指して撮り方を気にすれば、写真のセンスも上がりそう。これだけ多くの人が撮影テクニックを気にするなんて、写真の発明以来、初めてでは？ 数百年後、俳句に匹敵する文化として扱われてるかも？(け)

いしかり砂丘の風資料館

開館時間 午前9時30分~午後5時00分  
休館日 毎週火曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始  
入館料 大人:300円、中学生以下:無料  
団体料金240円(15名以上)  
交通 中央バス札幌ターミナルより石狩行き乗車、  
「石狩温泉」下車、徒歩1分  
(石狩温泉「番屋の湯」となり)

エスチユアリ No.55



2018年1月20日発行

いしかり砂丘の風資料館  
〒061-3372 北海道石狩市弁天町30-4  
TEL/FAX: 0133-62-3711  
bunkazaih@city.ishikari.hokkaido.jp  
http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/museum/